



出会いを変えるのは自分次第

校長 吉田 正行

3学期に入ってから、校長室で6年生と一緒に給食を食べています。その時に「わたしのひとこと」というカードを書いてきてもらい、食事のときの話題にしています。そのカードには、6年間で一番心に残っていることや中学校で頑張りたいこと、将来の夢などが書かれています。

将来についてみたい職業や、やってみたいことの話になると目が輝きます。NBA（バスケット）選手、サッカー選手、野球選手、水族館の職員、CA、ディズニーのキャスト、フライトドクター、声優、女優、検察官、保育士、大工、宇宙飛行士、自動車開発の仕事、サラリーマン、アニメクリエイター、NASAに務める、プライベートジェットに乗る・・・など紹介しきれません。なりたい理由を聞いてもしっかり答える6年生の頼もしい姿に大きな成長を感じました。

さて、そんな6年生に多摩市在住の音楽家の木根尚登（きねなおと）さんに伺った話を伝えたいと思います。木根さんは小室哲哉さん、宇都宮隆さんとともに結成したロックバンドTM NETWORK（TMネットワーク）のメンバーであり、音楽家、音楽プロデューサーとして活躍するだけでなく、数十冊の小説も書かれています。

木根さんは、「人生は出会いである。その出会いを変えるのは自分を変えることだ」という話をしてくれました。「自分にできる少しの努力を積み重ねていけば、同じような努力をしている人にきっと出会える。さらに努力を続けていけば、その努力に見合う人と出会い、その人が知恵や力を貸してくれる。そしてそれが自分のやりたいことの実現につながる」という意味です。

わかりやすく例えると、分厚いコンクリートの壁の先に実現したい夢があったとします。自分の手には1本の針しかありません。もし、小さな針でもこつこつ穴を開けていけば、「何しているの」と尋ねる人がきつといます。そして、「その針では穴は開けるのは大変だよ。私が持っているドリルを貸してあげるよ」と言って力を貸してくれる人が現れるかもしれません。しかし、初めから無理だと決めつけ、針を投げ捨ててしまったら、手伝ってくれる人もおらず、夢の実現にはつながらない、ということです。小さな努力でも続けていけば、その努力に見合った人と出会い、その人が力を貸してくれるのです。木根さん自身もそうやってみんなに助けられて夢を実現してきたのだという話にはとても説得力がありました。

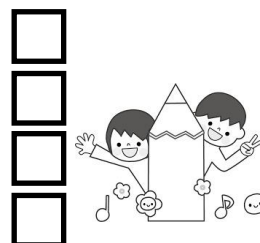
いよいよ3月。どの子も一年間さまざまな努力を重ね、とてもよく頑張ってきました。例年ですと6年生は卒業式に向かって準備、1年生から5年生はまとめをして進級へと予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、3月2日から休校とし春季休業日を迎えることになりました。急な対応でご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。

保護者・地域の皆様・関係の皆様には、一年間のご協力ならびに多大なご支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。来年度も大好きな瓜生小学校をよろしく願いいたします。

◆休校中の日記を用意しました。会話を増やし子供たちの心の安定のためにご活用ください。

【生活習慣のふりかえり 2月】 □に各自のふりかえりを記入する

- 挨拶・返事 自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………
- 優しい言葉 優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………
- 学習・読書 家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…
- 親切な行動 親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にさせていただきよう願いたします。